



学校だより

下小岩小学校 学校ホームページURL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310306>

5月号 令和6年4月30日発行

江戸川区立下小岩小学校

校長 鶴田麗子

かけがいのない命を守るため

校長 鶴田麗子

校庭のクスノキの緑がまぶしい季節になりました。その木を囲んで4年生が熱心に写生をしています。図工の題材としては今回は描き納めかもしれません。

新年度が始まり、ひと月が過ぎました。本校では、毎年クラス替えを行うので、全学年が新しい学年・学級でのスタートでした。気持ちも行動もリセットし、多くの子ども達が、進級の期待と希望を抱きながら、大変意欲的に学校生活を送っていました。

先日の学校公開でも、活気ある子ども達の様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。生き生きと学校生活を送る子ども達の姿を見るのは嬉しいものです。教職員も元気をもらっています。

さて今年度から、朝の登校見守りを全ての保護者の皆様をお願いしています。お陰様で多くの方々にご協力いただいております。またお家の方と一緒に登校し、安心して校門に入る1年生も少なからずおり、大変ありがたいことと感じております。

警察庁が2018年から2022年に起きた交通事故を分析したところ、小学生では歩行中の事故が最も多く全体の約6割を占めています。学年が低いほど歩行中の、学年が高くなると自転車乗用中の割合が高くなるようです。

歩行中の事故による死者・重傷者の約4割は飛び出しが原因で、学年で比較すると1年生は6年生の約3.2倍にもなります。また、1年生の交通事故の第1のピークは5月中旬で、下校中および私用時が多いとのこと。

これからの時期は、1年生も日々の通学に慣れ、緊張も解けていきます。他の学年の子ども達も、新しい交友関係や習い事など、放課後の行動範囲もますます広がります。親と一緒に、一人で行動する機会も増えていくことでしょう。

そんな中、かけがいのない命を守るためにも、子ども自身が自分の命は自分で守る術を身につけることが必要です。学校でも、月1回の安全指導日と避難訓練を通して、生活・災害・交通安全の観点から、危険を予測し回避する力を高めたり、自分と周囲の人の命を守る行動について学んだりしています。しかし、交通安全については、「知る」として、正しく「行動する」ことはなかなかつながらないのが現状です。急な飛び出し、横断歩道のない場所での横断、道路に広がって歩く等、登下校時の様子だけでも課題が見られます。子ども達が笑顔で過ごしていくためにも、ご家庭で外出の際には、ぜひ親子で交通ルールを意識してみてくださいと幸いです。よろしくお願いいたします。



